

平成 18 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況（連結）

平成 18 年 2 月 8 日

会社名 スターツコーポレーション株式会社 （JASDAQ・コード番号：8850）

（URL <http://www.starts.co.jp/>）

問合せ先 代表者役職・氏名 取締役社長 TEL：(03) 6202 0377

大槻 三雄

責任者役職・氏名 取締役業務統轄本部長

直井 保

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無：・無

（内容）

中間連結財務諸表作成基準に準拠しつつ、引当金の計上基準等に一部簡便的な方法を採用しております。

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無：・無

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無：・無

2. 平成 18 年 3 月期第 3 四半期財務・業績の概況（平成 17 年 4 月 1 日～平成 17 年 12 月 31 日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18 年 3 月期第 3 四半期	51,992	(9.6)	2,862	(-)	2,549	(-)	583	(-)
17 年 3 月期第 3 四半期	47,446	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)
(参考)17 年 3 月期	80,352	(14.7)	6,285	(11.3)	5,553	(10.0)	1,850	(13.5)

	1 株当たり四半期（当期）純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期（当期）純利益	
	円	銭	円	銭
18 年 3 月期第 3 四半期	26	41	-	-
17 年 3 月期第 3 四半期	-	-	-	-
(参考)17 年 3 月期	82	26	-	-

(注) 当該四半期より財務・業績の概況の開示を行っているため、前年同四半期実績及び増減率につきましては売上高以外は記載しておりません。なお、17 年 3 月期のパーセント表示は対前期比増減率でありませ

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

【仲介・賃貸管理事業】

賃貸管理部門における積極的な管理受託営業の結果、管理受託件数は住宅 129,632 戸（前連結会計年度末比 19,089 戸増）、駐車場 82,235 台（前連結会計年度末比 5,728 台増）となり、これらに伴う入居斡旋手数料及び管理手数料などの受取手数料、メンテナンス工事売上等が計画どおり順調に推移してまいりました。また、売買仲介部門におきましても重点エリアにおける販売センターの強化、マイホームオークションの継続開催による集客力の向上等により、媒介手数料収入が順調に推移しております。営業店舗「ピタットハウス」のネットワークは、当第 3 四半期末現在では全国 244 店舗（首都圏 173 店舗、地方主要都市 71 店舗・前連結会計年度末比 57 店舗増）となり、引き続き積極的な店舗展開をすすめております。

【建設事業】

建設事業部門におきましては、東京西部から神奈川県へかけて、また常磐新線沿線など営業エリアの拡大を図りながら、女性の視点からの設備・仕様等を充実させた「オザリア」シリーズなどコンセプトを明確にし、安全・安心に配慮した良質な賃貸住宅の企画・開発に注力しております。特に免震構造の賃貸住宅「高床免震」は特許を取得、これに生活用水確保のための井戸の設置、オール電化仕様を組み合わせた商品「オールセーフ」を開発し、積極的な営業活動を展開しております。免震構造の賃貸住宅は、竣工・仕掛中のものをあわせて、現在46棟を手がけております。

【分譲不動産事業】

分譲事業部門におきましては、共同事業方式の高層ツインタワーマンション「プリリアグランデみなとみらい」(神奈川県横浜市・総戸数555戸・平成19年11月竣工予定)、「アルファグランデ成田 番街」(千葉県成田市・総戸数236戸・第1期平成18年3月竣工予定)等の分譲マンションや東京都江戸川区、千葉県成田市・市川市等における分譲戸建住宅の販売に注力してまいりました。また、新規の事業用地の取得につきましては、引き続き、東京都内、千葉県浦安市・市川市・八千代市を中心に積極的に行ってまいります。

【その他事業】

フリーマガジン「メトロミニッツ」、情報誌「OZマガジン」における広告収入及びウェブサイト「OZモール」における「8800円プレミアム」シリーズの提供による手数料収入、ホテル「ルミエール葛西」の安定稼働、金融商品を中心としたコンサルティング収入など、各事業が計画どおり堅調に推移してまいりました。

これらの結果、当第3四半期の売上高は519億92百万円(前年同期比9.6%増)、営業利益は26億21百万円、経常利益は23億8百万円、四半期純利益は2億52百万円となりました。なお、セグメント別の売上高は、次のとおりであります。

【セグメント別売上高】

(金額単位：百万円)

セグメント名	当該四半期(平成18年3月期第3四半期)			平成17年3月期第3四半期	
	金額	構成比(%)	前年同期比(%)	金額	構成比(%)
仲介・賃貸管理事業	24,355	46.9	17.8	20,668	43.5
建設事業	16,443	31.6	11.7	14,714	31.0
分譲不動産事業	3,863	7.4	40.8	6,530	13.8
その他事業	7,329	14.1	32.4	5,532	11.7
合計	51,992	100.0	9.6	47,446	100.0

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年3月期第3四半期	100,624	10,109	10.0	457 54
17年3月期第3四半期	-	-	-	- -
(参考)17年3月期	76,487	9,299	12.2	419 38

(注) 当連結会計年度第1四半期より財務・業績の概況の開示を行っているため、前年同四半期実績につきましては記載しておりません。

[財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期末における総資産は1,006億24百万円となり、前連結会計年度末と比べて241億36百万円増加いたしました。その主な要因は、ホテル「エミオン東京ベイ」(平成17年6月27日開業)の開発に伴う有形固定資産の増加、当連結会計年度末の竣工・引渡しに向けた建築施工現場等の仕掛高の増加によるものであります。

株主資本は、利益剰余金の増加により、前連結会計年度末に比べて8億9百万円増加し、101億9百万円となりました。

3. 平成 18 年 3 月期の連結業績予想（平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 3 月 3 1 日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	87,000	6,200	2,100

（参考）1 株当たり予想当期純利益（通期） 94 円 68 銭

[業績予想に関する定性的情報等]

業績はおおむね当初の予想どおり推移しており、業績予想の変動はございません。

添付資料

- ・（要約）四半期連結貸借対照表
- ・（要約）四半期連結損益計算書

以 上

1.(要約)四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当四半期 (平成18年3月期 第3四半期末)		前連結会計年度末 (平成17年3月期)		比較増減
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額
(資産の部)					
流動資産	65,581	65.2	54,725	71.5	10,855
現金及び預金	23,757		19,704		4,052
受取手形及び売掛金	3,671		5,262		1,590
たな卸資産	31,522		26,137		5,384
繰延税金資産	1,075		898		177
その他	5,654		2,827		2,827
貸倒引当金	100		104		4
固定資産	35,043	34.8	21,762	28.5	13,281
有形固定資産	26,370	26.2	15,121	19.8	11,248
無形固定資産	491	0.5	363	0.5	128
投資その他の資産	8,181	8.1	6,277	8.2	1,904
資産合計	100,624	100.0	76,487	100.0	24,136
(負債の部)					
流動負債	53,014	52.7	45,777	59.8	7,237
買掛金及び未払金	13,684		11,551		2,133
短期借入金	16,026		18,422		2,396
その他	23,302		15,803		7,499
固定負債	35,255	35.1	19,732	25.8	15,523
長期借入金	33,584		18,508		15,076
退職給付引当金	253		235		18
役員退職慰労引当金	215		199		16
再評価差額金にかかる繰延税金負債	610		645		35
その他	590		143		446
負債合計	88,269	87.8	65,509	85.6	22,760
(少数株主持分)					
少数株主持分	2,245	2.2	1,678	2.2	567
(資本の部)					
資本金	2,571	2.6	2,571	3.3	-
資本剰余金	2,209	2.2	2,209	2.9	0
利益剰余金	4,162	4.1	3,652	4.8	509
土地再評価差額金	889	0.9	940	1.2	51
その他有価証券評価差額金	350	0.3	57	0.1	292
為替換算調整勘定	12	0.0	78	0.1	66
自己株式	60	0.1	53	0.0	7
資本合計	10,109	10.0	9,299	12.2	809
負債、少数株主持分及び資本合計	100,624	100.0	76,487	100.0	24,136

(注)(要約)四半期連結貸借対照表は、当連結会計年度の第1四半期より開示を行っておりますので、前年同四半期実績及び前年同四半期との比較は行っておりません。

1. 事業用固定資産として51億43百万円を有形固定資産に振り替えております。

2.(要約)四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当四半期 (平成18年3期 第3四半期)		(参考) 前連結会計年度 (平成17年3月期)	
	金 額	構成比 (%)	金 額	構成比 (%)
売上高	51,992	100.0	80,352	100.0
売上原価	34,747	66.8	58,615	73.0
売上総利益	17,244	33.1	21,737	27.0
販売費及び一般管理費	14,381	27.7	15,452	19.2
営業利益	2,862	5.5	6,285	7.8
営業外収益	452	0.9	340	0.4
営業外費用	765	1.5	1,072	1.3
経常利益	2,549	4.9	5,553	7.0
特別利益	22	0.0	18	0.0
特別損失	204	0.4	932	1.2
税金等調整前四半期(当期)純利益	2,367	4.6	4,639	5.8
税金費用	1,141	2.2	2,154	2.7
少数株主利益	642	1.2	634	0.8
四半期(当期)純利益	583	1.1	1,850	2.3

(注)(要約)四半期損益計算書は、当連結会計年度第1四半期より開示を行っておりますので、前年同四半期実績及び前年同四半期との比較は行っていません。